



令和元年8月14日  
横浜市文化観光局文化振興課  
(公財)横浜市芸術文化振興財団  
広報・ACYグループ

## 芸術創造特別支援事業 リーディング・プログラム 「YokohamArtLife」 4つの文化芸術プロジェクトへの支援を決定しました！

横浜市と公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、文化芸術をより身近なものに感じていただくため、「あなたの街のあなたの日常で体験できる文化芸術プロジェクト」を公募してきました。

この度、開催支援する4つの企画を決定しましたので、お知らせします。

■芸術創造特別支援事業リーディング・プログラム「YokohamArtLife(ヨコハマトライフ)」とは  
多様化する社会環境の中で、芸術文化にアクセスすることが難しい方々へ芸術文化体験を届けることを想定したプロジェクトを公募し、開催支援(助成金交付)を行う事業です。

URL <https://yokohamartlife.yafjp.org/>

### 1 開催支援決定プロジェクト(団体名50音順)

プロジェクト名	団体名	支援額
移動型！ダークルーム！	NPO法人ザ・ダークルーム・インターナショナル	700万円
Sakonyama Art Festival!! (左近山アートフェスティバル)	株式会社スタジオ・ゲンクマガイ	1,500万円
クリエイティブ・アート ・エキスペリエンス・ヨコハマ	NPO法人BankART1929	500万円
生きづらさを抱える子ども・若者と つくるミュージカルプロジェクト	NPO法人ヒューマンフェロウシップ	500万円

※プロジェクトの概要は別紙資料をご覧ください。

### 2 実施経過

公募開始	5月16日(木)	
公募内容に関する説明会	5月～6月	
公募締切	7月1日(月)	応募 29件
一次審査(書類審査)	7月12日(金)	一次通過 10件
二次審査(面談審査)・審査会	7月22日(月)	最終決定 4件

#### お問合せ先

[事業の趣旨等に関すること]

横浜市文化観光局文化振興課長 野田 日文 Tel 045-671-3703

[公募の詳細に関すること]

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団  
広報・ACYグループ長 伊東 亜紀子 Tel 045-221-0212

芸術創造特別支援事業リーディング・プログラム「YokohamArtLife」  
各プロジェクト概要

名称・団体	区	概要
<p><b>移動型！ ダークルーム！</b></p> <p>《NPO 法人 ザ・ダークルーム・ インターナショナル》</p>	市内複数区巡回予定	<p>■期間 10月～1月 ■会場 市内各地を巡回（公園、広場など）</p> <p>暗室・ギャラリー・巨大ピンホールカメラの3つの機能を持った移動型の暗室が各区をめぐり、フォトアート体験を生み出す企画。 団地や公園などを訪れ、シニア層や子育て世代などを対象に撮影や現像などのワークショップ、展示やトークなどのイベントを展開する。</p> 
<p><b>Sakonyama Art Festival!! （左近山アートフェ スティバル）</b></p> <p>《株式会社 スタジオ ・ゲンクマガイ》</p>	旭区	<p>■期間 10月～1月 ■会場 左近山団地（旭区）</p> <p>団地の空き店舗および公園を利用し様々な住民を対象としたアートフェスティバルを実施する企画。①週5日開くアート発信拠点、②月一で開催される商店街イベントへの参加、③広場での文化祭の3つの場を設け、恒常的に観る、つくる、発表する、滞在するなどの体験を創出。多様な人々が多角的にアートに深く関わることができる環境を生み出す。</p>  <p>©株式会社エイバンバ</p>
<p><b>クリエイティブ・アート・エクスペリエンス・ヨコハマ</b></p> <p>《NPO 法人 BankART1929》</p>	金沢区	<p>■期間 11月～1月 ■会場 金沢区を予定</p> <p>地域に芸術家が滞在し地域と関わりながら作品やプログラムを生み出していく企画。住民参加型の創作や個人住宅の庭を借用した巨大パブリックアートの設置などを行う。これにより住民と住民、住民とアートがコミュニケーションを取る機会を創出していく。</p>  <p>©飯川雄大</p>  <p>飯川雄大《デコレータークラブ -空色の小林さん-》 2017年 [撮影：飯川雄大]</p>
<p><b>生きづらさを抱える 子ども・若者をつくる ミュージカルプロジェ クト</b></p> <p>《NPO 法人 ヒューマン フェローシップ》</p>	磯子区	<p>■期間 10月～12月 ■会場 Negishi Livebox M6、他（磯子区）</p> <p>生きづらさを抱えた若者たちと共に地域でミュージカルをつくる企画。演出家や若者支援の専門家などと共に3ヵ月間のワークショップを経て、野外広場で成果を披露する。子どもや若者が未知の体験をする機会を生み出すとともに、地域と若者の接点を増やすことで、地域が若者を支えるきっかけを作る。</p> 